

栃木県職員ガイド2017



あなたと、創る。

VERY 
GOOD
LOCAL
とちぎ





知事メッセージ

栃木県は、四季折々の美しい自然、歴史・文化遺産や温泉、農林水産物、伝統工芸品など多彩な地域資源に恵まれているほか、多様な産業がバランス良く発展し、一人当たりの県民所得が全国5位と上位に位置するなど、自然と都市が調和した環境の中で、生活の豊かさや快適さを実感できる県です。

私たちが暮らす社会は、急速な少子高齢化の進行と人口減少、経済のグローバル化の進展など時代の大きな変化の中にあります。このような中、豊かな社会を維持し、次の世代へと引き継いでいくためには、将来の課題を的確にとらえながら栃木県の持つ強みや可能性をしっかりと見つけ、進むべき道筋を共有し、行動していくことが重要です。

このため、栃木県では平成28年度から5年間の県政の基本指針となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」をスタートさせ、栃木県の将来像である「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、各種プロジェクトに取り組んでいます。

また、本年2月、とちぎブランドの確立に向け、「バリー グッド ローカル とちぎ」を新たなキャッチフレーズとしました。あらゆる分野で「選ばれるとちぎ」の実現を目指し、県民や企業、行政等が一体となって“とちぎらしさ”に磨きをかけ、ローカルの良さを兼ね備えたとちぎが地方のモデルになっていくよう全力で取り組んでいるところです。

栃木県が目指す将来の姿を実現していくためには、前例にとらわれない新たな視点や柔軟な発想を持った、チャレンジ精神あふれる職員の力が重要です。

この「栃木県職員ガイド」は、“とちぎの未来”を切り開いていくために活躍している県職員を紹介するとともに、その業務等に対する理解を深め、仕事のやりがいを感じていただくために作成したものです。

とちぎの未来創生のため、私たちとともに『あなたと、創る。』とちぎづくりに向け、新たな一歩を踏み出してみませんか。

平成28年12月

栃木県知事 福田 富一

栃木県重点戦略 とちぎ元気発信プラン 2016-2020

栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」は、中長期的な展望のもと、とちぎの目指すべき将来像を描き、その実現に向け、県民の皆様と共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、今後5年間に県が行う仕事の進め方などをお示しする県政の基本指針です。県民の皆様とともに目指す将来像を「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」として掲げました。

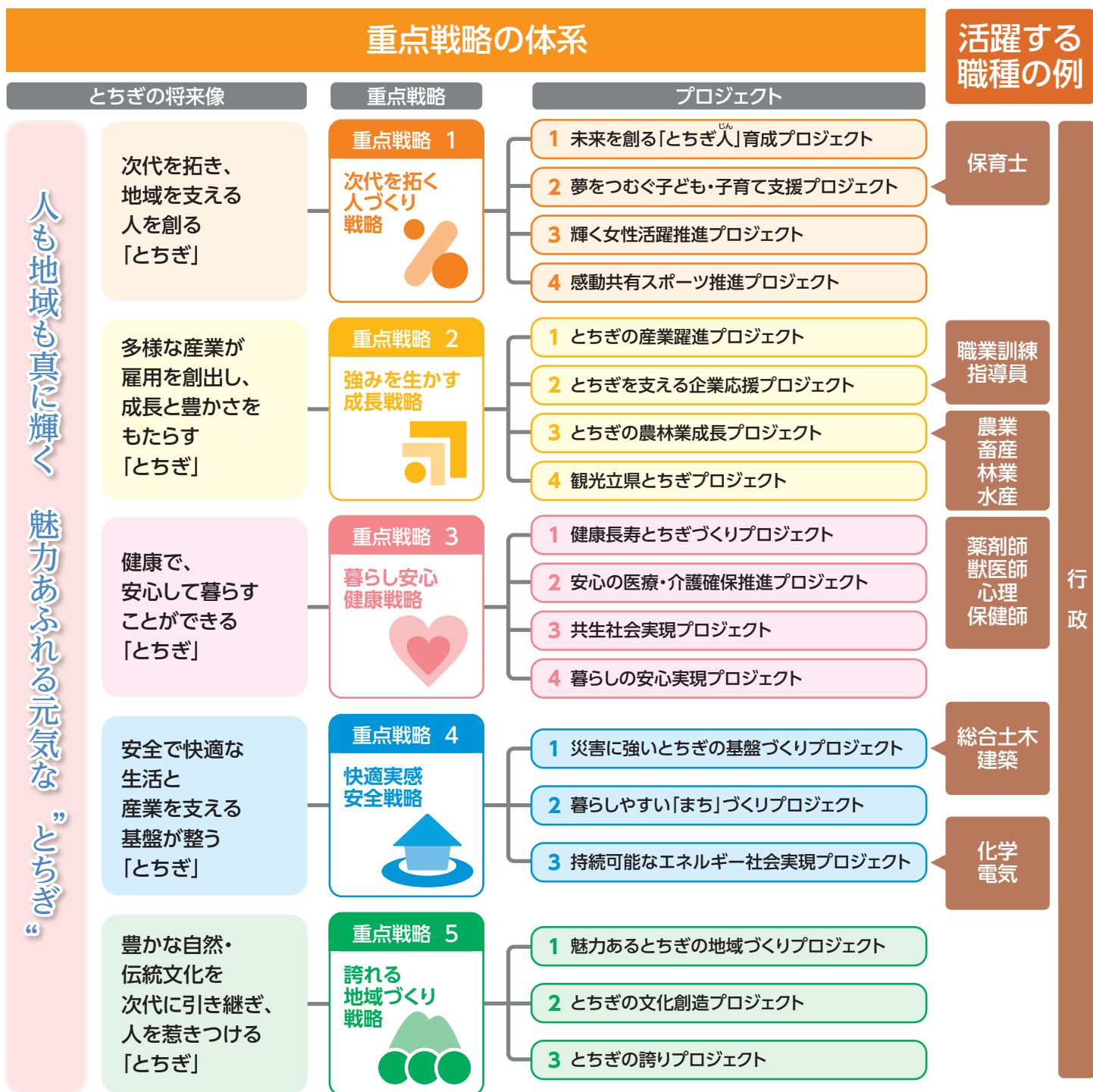
とちぎの将来像

人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”

- ◆ 次代を拓き、地域を支える人を創る「とちぎ」
- ◆ 多様な産業が雇用を創出し、成長と豊かさをもたらす「とちぎ」
- ◆ 健康で、安心して暮らすことができる「とちぎ」
- ◆ 安全で快適な生活と産業を支える基盤が整う「とちぎ」
- ◆ 豊かな自然・伝統文化を次代に引き継ぎ、人を惹きつける「とちぎ」



とちぎの目指す将来像をより確実に、より効果的に実現していくため、経済や暮らし、まちづくりなど、すべての活動の原動力となる「次代を拓く人づくり戦略」を第1の柱とし、県民の皆様や市町等との連携のもと、部局横断的に取り組むプロジェクトを着実に推進していきます。



様々な形で複数の職種の職員が一致団結し、未来のとちぎを創っています！

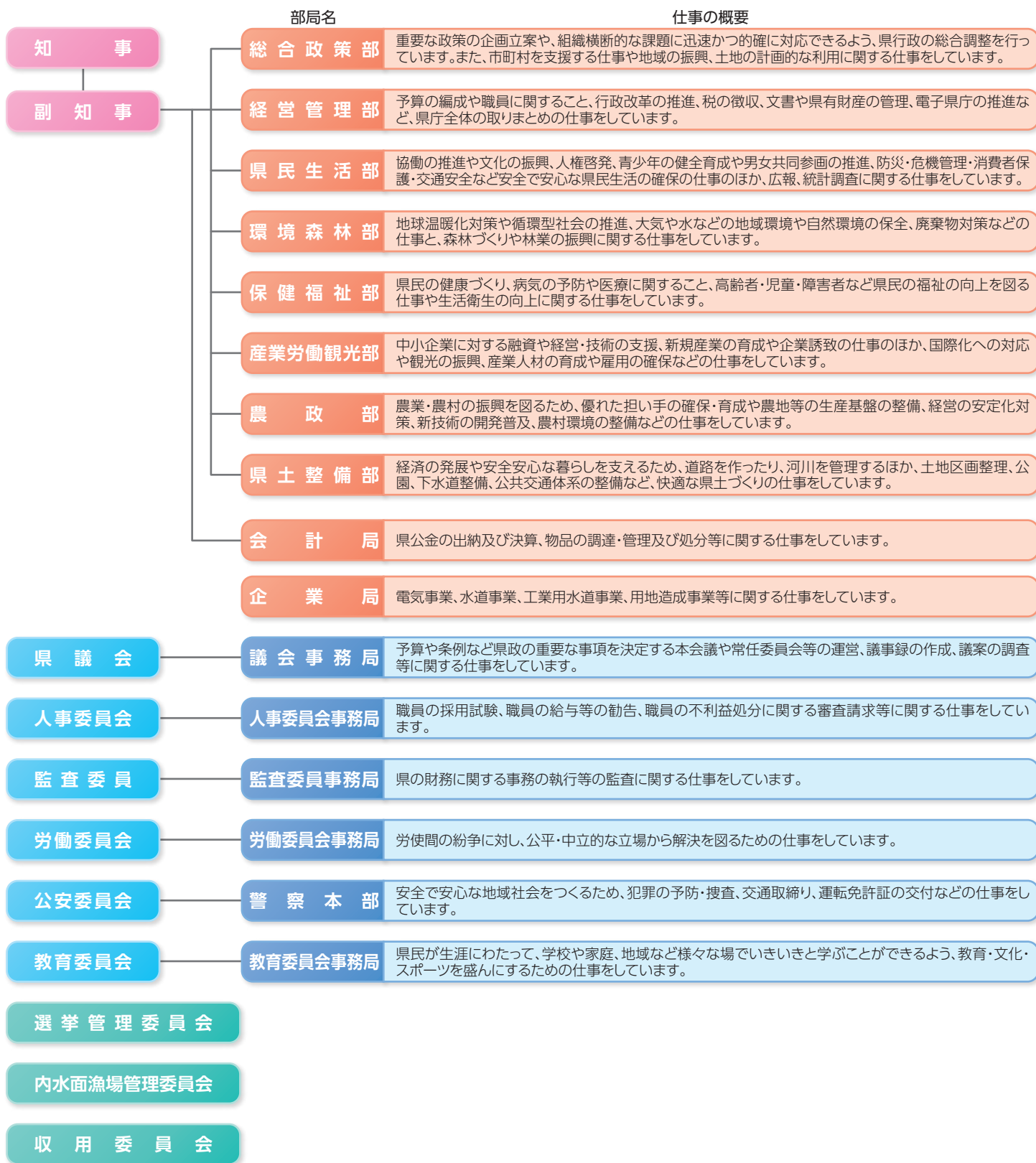
栃木県が求める人材

- | | |
|---------------------|-----------|
| 高い意欲と実行力を備えた | 「挑戦する職員」 |
| 栃木県職員としての使命感を持った | 「信頼される職員」 |
| 県民起点の発想で、県民と連携協力できる | 「協働する職員」 |



部局ごとの仕事の内容をチェック!

栃木県庁の組織



職員数・組織数 (平成28年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門	4,297人	教育部門	15,148人
警察部門	3,813人	公営企業部門	533人

●組織数(知事の事務部局)

本庁	8部1局63課室
出先機関	74



主な職種を掲載しています！
ここにない職種もあります！



栃木県職員職種一覧

職種 (職員数 H28.4.1現在)	主な業務内容	主な勤務場所
P5に掲載 行政 (2,660人)	各種施策の企画立案や事業の推進、予算編成・執行、庶務、県税の賦課徴収、公共事業用地の買収交渉、許認可、市町指導など、様々な分野で幅広い業務に従事します。	知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校
P7に掲載 薬剤師 (92人)	医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究、県立病院での調剤業務を行います。	薬務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター、県立病院
P5に掲載 化学 (105人)	産業廃棄物や地球温暖化などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。	環境森林政策課、地球温暖化対策課、環境保全課、廃棄物対策課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター
P6に掲載 農業 (354人)	優れた農作物栽培技術の開発・普及や、バイオテクノロジーを駆使した米や野菜、果樹、花きなどの試験研究、農業施策の企画立案とその推進にあたります。	農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校
P6に掲載 畜産 (66人)	畜産業振興施策の企画立案や、生産技術指導、試験研究機関での技術研究のほか、堆肥等の資源循環システムづくりによる循環型社会形成の一翼を担っています。	畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター
P5に掲載 林業 (189人)	森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの仕事をします。	環境森林政策課、自然環境課、林業振興課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター
P6に掲載 総合土木 (108人)	平成24年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された者は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。	主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します
	農業土木 (125人)	農村振興課、農地整備課、農業振興事務所
	土木 (406人)	県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所
P7に掲載 建築 (71人)	市街地の再開発など都市機能の向上に関する施策や、県有施設建設の設計・施工・監理や営繕業務、建築指導などに携わります。	建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所
P7に掲載 電気 (89人)	発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。	企業局(電気課、水道課、水道事務所、今市発電管理事務所)、産業技術センター、建築課、土木事務所
	機械 (64人)	建築課、計量検定所、産業技術センター、産業技術専門学校
	心理 (47人)	児童相談所、精神保健福祉センター
	水産 (15人)	生産振興課、水産試験場
P8に掲載 保健師 (122人)	地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体を守る仕事です。	医療政策課、健康増進課、健康福祉センター、衛生福祉大学校、県立病院
	臨床検査技師 (48人)	県立病院、健康福祉センター、保健環境センター
	管理栄養士 (20人)	県立病院、健康福祉センター
	栄養士 (県立学校勤務4人)	特別支援学校、定時制高校
	栄養士 (小・中学校勤務171人)	市町立小・中学校、学校給食センター
	司書 (9人)	県立図書館
P8に掲載 保育士 (25人)	心身障害児総合通園センターにおける通園児の保育や、児童相談所での児童の生活援助、学習・体育指導などに従事します。	児童相談所、那須学園
P8に掲載 職業訓練指導員 (38人)	県央産業技術専門学校等において、就職等に必要となる技能・技術の指導や、就職支援等の職業訓練指導の業務に従事します。	労働政策課、県央産業技術専門学校
P7に掲載 獣医師 (133人)	家畜伝染病対策をはじめとした家畜の保健衛生に関する防疫・試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。	生活衛生課、畜産振興課、家畜保健衛生所、健康福祉センター、食肉衛生検査所、動物愛護指導センター、畜産酪農研究センター
P8に掲載 警察行政 (464人(定数))	警察内の会計事務や情報管理、装備品の調達、鑑識業務、各種申請の受理審査業務等を行います。いずれも警察活動を推進する上で、重要な役割を担っています。	警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校
	小中学校事務 (560人)	市町立小・中学校



職員紹介

ここからは、職種ごとに先輩職員を紹介します。

行政

川上 隆之

Takayuki Kawakami

県民生活部 広報課 広報担当
平成19年度採用

異動経歴

H19～ 障害福祉課 在宅福祉担当
H23～ 県西環境森林事務所 環境対策課
H26～ 現所属



とちぎの魅力を分かりやすく発信

現在の担当業務は？

県ホームページの管理・運営を行っています。災害発生時の緊急情報をいち早くお知らせするほか、県が行っている事業やイベント、そして、「とちぎの魅力」をより分かりやすく伝えることに心がけています。ホームページをリニューアルする仕事を任せられ、高齢者や障害者の方など、誰もが利用できるデザイン設計に苦心しましたが、県民の方から「見やすい」「分かりやすい」との声が寄せられ、妥協せず頑張った甲斐がありました。

県職員の魅力は？

多様な分野の仕事を経験できることが県職員の魅力です。特に行政職は、配属先が多岐にわたるため、異動することに新しい分野の勉強をして、多くの人と出会い、様々なことに挑戦することで、県職員としてだけでなく、人間としても大きく成長することができそうです。

仕事をする上で心がけていることは？

上司や同僚への報告・連絡・相談を常に心がけています。突発的な問題が発生しても、一人で抱え込まずに周りに相談すれば親身になって応じてくれるので、安心して仕事を進めることができます。



行政

松山 和

Nagomi Matsuyama

産業労働観光部 産業政策課 企業立地班
平成15年度採用

異動経歴

H15～ 健康増進課 疾病対策担当
H18～ 宇都宮土木事務所 総務課
H22～ 財政課 総務企画担当
H25～ 障害福祉課 企画推進担当
H28～ 現所属



「選ばれるとちぎ」のために

現在の担当業務は？

企業誘致に携わっています。企業の誘致は、雇用の創出・拡大に結びつき、新しいひとの流れをつくることから、将来にわたって本県を支えていく重要な業務のひとつです。工場の新設等を検討されている企業の意向を伺いながら、用地の提案や現地の案内、支援制度の説明のほか、数字データでは分からない本県の魅力もPRし「選ばれるとちぎ」を目指して日々奮闘しています。

職場の雰囲気は？

女性が子育てをしながら仕事をするのが、当たり前のこととして受け入れられています。ロールモデルとなる方が、男性も含めて多くいますから、安心して働き続けることができますよ。結婚後の旧姓使用も認められており、私も制度を利用しています。

リフレッシュにはどんなことを？

県職員は一人ひとりが県の広報マン・ウーマンですから、日頃の情報収集は欠かせません！私も、とちぎの美味しいものを多くの人に紹介するため、休日には県内のいろいろなお店を巡っています。・・・と言うと聞こえが良いですが、美味しいものを食べてリフレッシュしています。



化学

佐々木 貞幸

Sadayuki Sasaki

環境森林部 環境森林政策課 環境立県戦略室
平成17年度採用

異動経歴

H17～ 保健環境センター 水環境部
H20～ 都市整備課 下水道室計画管理チーム
H24～ 原子力災害対策室 原子力災害対策担当
H26～ 県東環境森林事務所 環境対策課
H28～ 現所属



専門的知識を備えたオールラウンダー

現在の担当業務は？

環境審議会の運営、環境影響評価制度の運用や分散型エネルギーの導入拡大など、環境を保全するだけでなく、利活用するといった観点を含めた環境施策全般に関する業務を担当しています。平成28年度新たに国民の祝日となった「山の日」の普及啓発のため、来年度本県で開催する「山の日記念全国大会」の準備にも携わっています。

これまでどんな業務を担当？

工場や廃棄物処理施設等に対する立入検査等、現場での指導を経験したほか、河川等の汚濁原因の調査・解明など研究職の業務にも従事しました。また、下水道施設の維持管理業務の見直し、東日本大震災に起因する原子力災害対策にも携わるなど、化学職の中では多様な業務を経験しています。

印象に残っていることは？

H23年3月の東日本大震災の際は、都市整備課下水道室に所属していたことから、放射性物質を含んだ汚泥の処理や施設の維持に携わりました。前例のない中、汚泥の安全な管理方法の検討、対策の実施、周辺住民の方々への説明会の開催など、県として出来ることから対策に取り組んだことは貴重な経験です。



林業

大谷 直希

Naoki Otani

環境森林部 県西環境森林事務所 森林部 森づくり第三課
平成20年度採用

異動経歴

H20～ 県東環境森林事務所 林業経営課
H22～ 県東環境森林事務所 森づくり課
H23～ 森林整備課 森づくり推進班公有林チーム
H26～ 環境森林政策課 環境立県戦略室
H28～ 現所属



“緑の大地”とちぎの森林創生！

現在の担当業務は？

H27年9月の関東・東北豪雨による災害からの山地復旧工事(治山工事)に携わっています。地域の要望等を受けて、荒廃した渓流や崩壊した山腹を調査測量し、その結果を基に現地に適する最も効果的かつ経済的な工法を設計積算し、工事を発注します。関係住民への説明のほか、構造物が十分に機能を発揮できるように現場監督も行います。

仕事をする上で心がけていることは？

「とちぎ100年の森林」未来戦略というワーキンググループに参加し、将来のとちぎの森林像を様々な角度から分析の上、報告書にまとめました。林業・木材産業は何十年という長期的な視点が必要であり、そのためには業界全体の深い知識が必要です。常に「なぜ？」と疑問を持つことに加え、県民からの問い合わせ、上司・同僚への報告・相談など、スピード感を持って行動できるよう心がけています。

プライベートではどんなことを？

テニスやスノーボード、キャンプのほか、最近は登山、ゴルフも始めました。栃木の自然の中で体を動かすことは気持ちがいいです。基本的に土日祝日が休みなので、プライベートのスケジュールが立てやすいのも県職員の魅力の一つだと思います。



農業

大関 美香

Mika Ozeki

農政部 農業試験場 研究開発部 麦類研究室
平成14年度採用

異動経歴

- H14～ 経営技術課 普及情報担当
- H16～ 経営技術課 経営体育成担当
- H17～ 農業試験場栃木分場
- H24～ 現所属



とちぎの農と食をささえる縁の下の力持ち!

現在の担当業務は?

栃木県はビール大麦収穫量全国1位。そんな全国有数の麦作県である本県の麦作を研究レベルで支えています。具体的には、麦類(特にビール大麦)の新品種開発、新品種の栽培法開発をはじめ、新たな機能性を追求する研究なども行っています。また、経営技術課の時は、農業技術に関する情報管理や新規就農者の確保・育成などにも携わりました。

「挑戦する職員」として実践していることは?

現在従事している育種・研究に対する要望はますます高度化・多様化すると予想されます。これらに対応し、より効率的に優れた大麦品種の育成を図るため、大学院において、植物育種学に関する高度かつ体系的な知識と技能の習得に挑戦しています。

県の農業職の魅力は?

新品種開発には多大な時間と労力が必要ですが、自分が関わった麦が社会に還元されるのは、何よりも嬉しく非常にやりがいを感じます。また、農業全体の収益向上や農村発展のため、農業改良普及員として実際に生産者の方と接するなど、どの職場においても生産者と地域を第一に考えて幅広く活動できることも魅力ですね。



畜産

福島 正人

Masato Fukushima

農政部 農業大学校 教務部 畜産経営担当
平成16年度採用

異動経歴

- H16～ 畜産試験場 畜産環境研究室
- H20～ 酪農試験場 畜産環境研究室
- H23～ 畜産酪農研究センター 畜産環境研究室
- H24～ 県中央畜保健衛生所 企画指導課
- H26～ 現所属



畜産の担い手を育成します

これまでどんな業務を担当?

試験場や畜産酪農研究センターでは、家畜のふん尿処理に関する研究を行い、その専門知識と技術を応用し、ふん尿処理がうまくできない農家に対しては普及指導員と共に指導・助言を行いました。また、家畜保健衛生所では家畜人工授精を行う生産現場の獣医師などに関係書類の作成の指導をするなど、研究から指導まで幅広い業務に携わりました。

印象に残っていることは?

研究室3年目に他機関へ研修に行った際、研究成果を外部へ積極的に発信することの重要性を強く感じました。たった2カ月間でしたが24時間研究に没頭し、その成果を学会で発表できたことは、その後の研究に対する姿勢を大きく変えるきっかけとなりました。自身の成長はもちろん、研究成果が本県のみならず、畜産業界全体のレベル向上の一助になるかもしれないことなど改めて認識しました。

仕事をやる上で心がけていることは?

現在、農業大学校にて講義から実習まで教えており、学生が卒業後すぐ生産現場に対応できるよう実習に重点を置いた指導をしています。私自身、技術関連の資格を取得したり、積極的に子供と過ごす時間を多くとるなど様々な実体験を積むことが、学生への指導にも生かされていますね。



総合土木 (農業土木)

林 大介

Daisuke Hayashi

農政部 農地整備課 水利保全担当
平成17年度採用

異動経歴

- H17～ 芳賀農業振興事務所 整備第二課
- H20～ 上都賀農業振興事務所 整備課
- H22～ 都市整備課 下水道室
- H26～ 現所属



とちぎの農業・農村の持続的発展を支えます

県の総合土木職の魅力は?

農業の振興や農村の生活を支える生産基盤の整備を推進するため、計画・設計・工事すべての段階に関わることが出来ます。また、農業の規模拡大や省力化、低コスト化の実現のため、ICT(情報通信技術)などの先端技術の導入にも積極的に携わるなど、県全体の農業振興を考えながら整備を行うことも大きな特色です。

これまでの担当業務は?

H27年9月の関東・東北豪雨による災害からの農地・農業用施設復旧事業や、汚水を浄化した際に発生するメタンガスを利用して、県内初のPFI事業、そして全国の自治体で初となる再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用したバイオガス発電設備の導入を担当しました。前例がない中、数々の困難や失敗を経験しましたが、新たな試みに挑戦することで、行政サービスの向上につなげることができました。

子育てはどんなことを?

小学生までの子がケガや病気をして看護等が必要な場合は、看護休暇がとれるので、よく発熱する幼児の頃はとても助かりました。また、子どもの保育園や小学校の行事には年次休暇を利用して参加しています。子育てについて職場の理解があるのも県職員の魅力の一つです。



総合土木 (土木)

萩原 淳弘

Atsuhiko Hagiwara

県土整備部 交通政策課 道路計画担当
平成20年度採用

異動経歴

- H20～ 佐野土木事務所 河川砂防部
- H21～ 佐野土木事務所 整備部
- H22～ 安足土木事務所 整備第二課
- H23～ 道路整備課 整備調査担当
- H27～ 国土交通省(道路局環境安全課)へ派遣
- H28～ 現所属



社会資本整備を通じ、とちぎを元気にします!

現在の担当業務は?

県の成長・発展を支え、災害にも強い県土をつくるため、広域的な道路ネットワークの充実に関する仕事をしています。具体的には、県をまたぐような広域幹線道路について、道路計画の策定や隣接県との調整を行っています。また、高速道路と一般道をつなぐスマートインターチェンジの新設を進める市町の取組を支援しています。

省庁派遣時にはどんなことを?

国土交通省に派遣されていた時は、全国の道路整備予算や道路の老朽化対策を担当しました。インフラの骨格である道路を日本全体の視点で見られたことで、改めて栃木県の道路のあり方を考え直すとともに、県職員としての使命を再認識できました。また、国や他県の方との人脈が得られ、今でも交流を深めており、貴重な財産になりました。

「協働する・信頼される職員」として実践したことは?

ある町の道路事業で採択数が少ない国の補助制度の活用に対し、町との二人三脚で補助金申請資料の作成等に奔走した結果、無事に採択されました。協働による挑戦で、町の方から信頼を得られたことは、これまでの自分の取組み姿勢も評価してもらえたようで、仕事のモチベーションに繋がっています。



建築

須藤 麻里子

Mariko Suto

県土整備部 建築課 企画営繕担当
平成23年度採用

異動経歴
H23～ 矢板土木事務所 建築指導担当
H24～ 宇都宮土木事務所 工事課
H25～ 建築課 建築第二担当
H26～ 建築課 建築第一担当
H27～ 現所属



安全・安心に暮らせるまちを未来に引き継ぎます!

現在の担当業務は?

県有施設の設計・工事に関する基準類の整備や、施設の保全・長寿命化対策に関する業務のほか、庁内の建築関係職員や県内の自治体職員向け研修等の企画・運営に関する業務も行っていきます。また、これまでの業務で印象に残っていることは、歴史的価値のある旧英国大使館別荘改築の設計・工事に携わった際、関係する多くの方の意見を取り入れながらひとつの建物を完成させていくこととてもやりがいを感じましたし、大変貴重な経験となりました。

民間の仕事との違いは?

技術系公務員は、組織内において深い専門知識を持つ「その分野のプロ」であると同時に、県民からは広い知識を持ちマネジメントができる「ゼネラリスト」であることが求められます。県の建築職の場合、建築行政から都市計画、施設の設計・工事監理に至る幅広い業務に携わることができるので、2つの能力を培うことができます。

「信頼される職員」として実践していることは?

建築行政や建物の設計・工事監理を行っている時、自分より知識や経験が豊富な方と接する機会が多くなります。「分からないことは素直に聞く」、「相手の立場に立って丁寧に対応する」。この2つを常に心掛けた結果、別の場所で会った際には今でも親身に声を掛けていただけます。知識や経験を身に付けるのはもちろんのこと、人的魅力も備えた職員になりたいと思います。



電気

古山 拓哉

Takuya Furuyama

企業局 水道課 施設担当
平成18年度採用

異動経歴
H18～ 今市発電管理事務所 施設第二課
H21～ 北那須水道事務所 施設課
H25～ 生活衛生課 衛生・水道担当
H28～ 現所属



将来まで安定したライフラインづくり

現在の担当業務は?

市町へ提供している水道用水や企業へ提供している工業用水を安定供給するため、施設の維持管理や更新に関する技術の検討や関係機関との調整を行っています。また、水道用水、工業用水ともに生活に欠かすことのできないライフラインですので、将来まで安定供給ができるよう、中長期的な施設更新計画の作成も行っています。

これまでどんな業務を担当?

発電管理事務所では水力発電所の点検や工事監督を、水道事務所では浄水場の維持管理のほか、来場者には水の大切さの説明等を行いました。生活衛生課では安全・安心な水が飲めるよう、水道法に基づく市町等への指導や監督に携わりました。

印象に残っていることは?

H27年9月の関東・東北豪雨によって県内の水道施設に被害が生じ、時々刻々変化する被害状況の把握や災害復旧事業に携わる関係機関との調整を行い、全力で早期復旧に努めました。また、東日本大震災による断水地域での給水活動の際、被災者の方から感謝の言葉をいただき、改めて水の大切さを実感するとともに、日々の業務の重要性を再認識しました。



薬剤師

荒川 博

Hiroshi Arakawa

保健福祉部 県南健康福祉センター
地域保健部 生活衛生課
平成20年度採用

異動経歴
H20～ 保健環境センター 食品薬品部
H21～ 県西健康福祉センター 生活衛生課
H24～ 生活衛生課 食品安全推進班
H27～ 現所属



綿密・丁寧な仕事で頼られるエキスパート

これまでどんな業務を担当?

薬事監視員・毒物劇物監視員として、病院や薬局、ドラッグストア・ホームセンターなどに立ち入り検査する監視指導業務のほか、温泉の源泉調査、学校などに赴いて実施する薬物乱用防止教室や、薬物に関する相談業務に携わりました。現所属では、食品衛生監視員として、飲食店などの営業許可や衛生指導、食品工場への立ち入り検査をはじめ、食中毒の注意喚起、発生時の原因調査や行政処分なども行います。

やりがいを感じる時は?

本県は医薬品・医療機器ともに全国で有数の生産県です。全国的に流通する食品の製造工場も数多くあり、農畜水産物の生産でも存在感があるため、指導や監視業務の成果は県民の健康保護にとどまらず、全国にも寄与しています。また、温泉県でもあることから、時には山や川を分け入って実施する源泉調査にも大きな責任とやりがいを感じます。

印象に残っていることは?

業務は栃木県内で完結するものばかりではありません。大規模食中毒の調査や広域流通した違反食品の回収といった事案においては、関係する国の機関や全国の自治体と連携し、迅速かつ的確に対応したことで、職務の重要性を肌で感じました。



獣医師

長 尚

Takashi Cho

保健福祉部 生活衛生課
食品安全推進班
平成20年度採用

異動経歴
H20～ 県南健康福祉センター 生活衛生課
H23～ 県北健康福祉センター 生活衛生課
H26～ 現所属



とちぎの公衆衛生を支えるエキスパートに

これまでどんな業務を担当?

飲食店や旅館、公衆浴場、理容所や美容所などの許認可や監視指導など、公衆衛生全般に関する業務に携わりました。現在は、食品衛生に関する企画立案や制度制定、広域に流通する食品を製造している工場への監視指導などを通じて、栃木県の「食の安全・安心」を確保・推進しています。食という県民生活に密接で、関心の高い分野でもあるため、責任とやりがいを日々感じております。

県の獣医師の魅力は?

県の獣医師は、家畜伝染病対策をはじめとした家畜の保健衛生対策に従事する者のほか、私のように公衆衛生分野で働く者もいます。獣医師として培った知識や経験を様々な分野で発揮することができるのは、県職員の大きな魅力です。

民間の仕事との違いは?

民間では動物病院などで「動物」の健康を守ることが主な仕事ですが、県職員として公衆衛生に携わる獣医師は、法律に基づき「人の健康を守る」というのが大きな違いです。また、診療獣医師への関係法令の遵守や、知識・技能の普及などによる畜産関係者との連携、協力体制の構築等により防疫体制の確立なども図ります。



保健師

稲葉 陽子

Yoko Inaba

保健福祉部 県東健康福祉センター 健康支援課
平成17年度採用

異動経歴

H17～ 栃木健康福祉センター 保健衛生課
H20～ 健康増進課 難病対策担当
H22～ 県南健康福祉センター 健康対策課
H28～ 現所属



保健活動を通じて地域をつなぐ

これまでどんな業務を担当？

難病患者支援や精神保健業務を経験し、訪問等による個別支援や患者家族向けの健康教育、関係者向けの研修会やネットワーク形成のための会議等を担当したほか、予算編成作業など保健対策の総合調整にも携わり、県民の心と身体の健康を守る仕事に従事しています。

「協働する職員」として実践したことは？

在宅療養をしている人工呼吸器を装着した患者、家族、関係者とともに、平常時から準備しておく備蓄品や、災害発生や停電時に患者・家族がとるべき行動を見える化するなど、災害時に備えた対応訓練を実施しました。市町村や消防、病院などの関係機関が連携・協力することの重要性を実感できたとともに、県保健師の役割を再認識することができました。

仕事と子育ての両立は？

産前産後休暇はもちろん、育児休業を1年5ヶ月取得し、職場に復帰後は、子どもが2歳になるまでは子どもの病院受診等のため育児時間休暇を取得し、大変助かりました。現在も子どもの突発的な体調不良などがありますが、充実した子育てで応援制度と職場の上司、同僚の理解のおかげで子育てと仕事を両立できています。



保育士

木村 桜

Sakura Kimura

保健福祉部
とちぎリハビリテーションセンター 入所療育課
平成20年度採用

異動経歴

H20～ とちぎリハビリテーションセンター入所療育課
H23～ こども政策課 保育指導担当
H26～ 現所属



子どもたちの生活と笑顔を守ります

現在の担当業務は？

身体に障害のあるお子さんが生活する医療型入所施設で、医師、看護師、理学・作業療法士及び言語聴覚士の方々と連携しながら、生活をサポートしています。未就学児童の保育、学齢児童の下校後や休日の生活支援、余暇支援、また、一人ひとりに合った療育をご家族と一緒に考え、提供していくことが主な業務です。

これまでどんな業務を担当？

こども政策課において、保育所の補助金交付業務、認可外保育施設の設置指導、立入調査、研修企画等に携わりました。また、国や他県の保育行政の動向なども踏まえ、子どもを取りまく制度や県内の保育行政に求められているニーズなど、大局的な視点を持つ経験ができたことは、保育士としての視野を広げるきっかけとなりました。

民間の仕事との違いは？

県の保育士の場合、虐待や様々な事情により保護が必要な児童を一時的に預かり生活支援を行う児童相談所や、様々な課題を抱えた児童と生活を共にし、指導に当たる那須学園など、より専門性が活かされる場での仕事に携わることにもなります。難しいことも多々ありますが、児童一人ひとりに寄り添い、その笑顔と成長を身近に感じられることが、私の喜びです。



職業訓練指導員

江連 雅晴

Masaharu Ezure

産業労働観光部 労働政策課 雇用対策担当
平成18年度採用

異動経歴

H18～ 県央高等産業技術学校 制御システム科担当
H24～ 県央産業技術専門学校 電気工事科担当
H27～ 現所属



未来を担うものづくり人を育てる！

これまでどんな業務を担当？

職業訓練校で高卒及び中卒の若年者に対し、電気系分野を指導してきました。訓練生に対し、知識技能の伝授だけではなく、素直な心を持ったコミュニケーションの取れる職業人の育成を目標に訓練を行ってきました。現在は、県内企業への雇用に関する業務を担当しており、合同説明会の企画・運営、障害者の就職支援など多岐にわたります。

県の職業訓練指導員の魅力は？

訓練で教えたことが訓練生の身になったときにやりがいを感じますが、中でも就職内定を聞いたときは本当に嬉しいです。修了日、最後の教壇で話す際には、やりきった思いと切なさが入り交じる貴重な体験ができます。また、訓練校では技能五輪という技のオリンピックに挑戦しています。放課後、毎日のように選手を訓練し、学生大会で入賞。選手は就職後も技能五輪に挑戦し続け、世界チャンピオンに。人を育てるのは面白いものです。

プライベートはどんなことを？

小学生の頃から書をたしなみ、訓練の場面でも筆を振るっていたところ、県内の看板を書く機会に恵まれました。杉板に文字を入れるのは緊張しましたが、刺激的な経験でした。また、県庁テニスクラブに所属し毎週汗を流しており、いずれは子どもとダブルス大会に出て、優勝することが夢です。



警察行政

菱沼 慎也

Shinya Hishinuma

警察本部 警務部 会計課
平成22年度採用

異動経歴

H22～ 宇都宮東警察署 会計課
H26～ 那珂川警察署 会計課
H27～ 現所属



県民の安全安心は「私達」が守る

現在の担当業務は？

会計課調度係として、物品の調達及び管理を主に担当しています。事件が発生した際に使用する鑑識用品等の各種資機材から普段使う文房具まで業務に必要なものを幅広く調達しています。また、各種機材を常に使用できるようにしておくための管理・点検も行っています。

これまでどんな業務を担当？

警察署での勤務時、会計課員として署内の給与支給業務や直接住民の方と係わる遺失拾得業務などを担当しました。ある時、迷子犬が保護される出来事がありました。交番の警察官に付近の聞き込みを依頼したり、関係機関に問い合わせるなど迅速に対応した結果、無事飼い主が見つかり感謝の言葉をいただいたことは、自分の役割を全うできたという達成感がありました。

「挑戦する職員」として実践したことは？

前任の警察署は県内で一番規模の小さな警察署でした。そのため、管内で発生している事件などの情報を常に把握し、捜査にあたりこの先どんなものが必要になるかを自分で考え調達することで、警察官の捜査活動に迅速に対応できました。このことが現在の担当業務にも活かされています。



活躍する女性職員

同じ職場で働く、グループリーダーと若手の職員に
県庁での仕事を聞きました。

課長補佐 (GL)

小林 基予子

Kiyoko Kobayashi

(平成元年採用・行政職)

異動経歴

H1年～ 職業能力開発課
H5年～ 財政課
H9年～ 栃木土木事務所 用地課
H13年～ 鹿沼県税事務所 収税課
H17年～ 県民文化課
H20年～ 経済流通課
H25年～ 議会事務局議事課
H28年～ 現所属



主事

岩見 朱里

Akari Iwami

(平成26年採用・行政職)

風通しのいい職場

小林 入庁3年目になり、仕事や環境に随分慣れてきましたね。

岩見 はい。周りの皆さんのおかげです。ちょっとした悩みやプライベートの相談にも耳を傾けてアドバイスをくださる同僚、上司がいて、風通しが良い職場だなと感じています。

小林 そう思ってくれていて良かった(笑)。定期的に、仕事の進み具合を確認したり相談したりしていますね。岩見さんも3年目の立場から気づくこともあると思うので、先輩の仕事のことも遠慮せずに意見を出してくださいね。

岩見 ありがとうございます。先輩の分かりやすい説明や鋭い意見を聞くこと、とても勉強になります。いいところをたくさん吸収しながら、もっと意見も出せるようにしていきたいです。

小林 仕事の進め方では、どんなところに気をつけているのでしょうか。

岩見 以前、担当業務を自力で何とかしようと抱えてしまって報告が遅くなってしまったことがありました。仕事ではチームの力を借りていいんだと気づき、今では周りの先輩にもアドバイスをいただきながら進めるようにしています。

小林 岩見さんは、自分で考えながら先輩と情報共有もして、慎重に仕事をしている印象がありますね。前任者に倣うだけでなく、なぜこの結論になるのか、根拠はなにかをしっかりと調べて考えることで、異動先でも生かせる本当の力がつくんですよ。近い将来、後輩に教える立場になったときにも大切なことなので、是非続けてください。

たくさんの人たちとの出会いと協力

小林 今までの仕事で、印象的だったものはありますか？

岩見 私は課の庶務や予算といった総務事務や、「家庭の日」の普及啓発、青少年健全育成に関わる団体への補助金の交付などを担当しました。初めて携わった心豊かな青少年を育む県民のつどいの運営では、関係団体を始め、開催地の市町やボランティアなど様々な方々の協力のもとでイベントを作り上げていったのですが、「協働する職員」という視点を学べたことが財産になりました。

小林 私も、以前所属した県民文化課で社会貢献活動の促進・NPO等との協働を経験しました。多くの方々と協力して成果を上げるというのは、県庁職員としてやりがいを感じますよね。

岩見 はい。私の担当する啓発事業は成果が目に見えにくい仕事ですが、意義を丁寧に説明することで企業や関係団体の方達が趣旨に賛同し協力してくれました。青少年が夢と希望を持ち、心豊かでたくましく育つために何かしたいという思いを共有できたことで、その思いを形にする行政の必要性もとても感じました。

小林 どの職場でも、協力があって仕事が動いていくんですよ。そして県職員、特に行政職は様々な業務を経験できることも魅力のひとつですよ。新たな出会いや発見もありますし、自分の生活や心も豊かなものにしてくれます。

【県民生活部 人権・青少年男女参画課 青少年育成担当】

次代を担う青少年の健全育成が仕事。ふれあい育む「家庭の日」(毎月第3日曜)の定着や、社会全体で子どもを健全に育てるための基本理念となる「とちぎの子ども育成憲章」の普及啓発、青少年の社会参加や次世代リーダーの育成事業などを実施。

気分転換も大切

小林 休日は、2人の娘達が小学生からバスケットボールを続けているので、試合の応援に行っては元気をもらっています。家族で栃木プレックスの試合観戦にも行くんですよ。

岩見 私は、県内各地の美味しいもの巡りをしています。未開拓のお店でおいしいものに出会えるのが楽しいんです!また、スポーツジムに通って体を動かすことで心身のリフレッシュを図っています。

小林 仕事から離れた時間を過ごすことで、新しいアイデアが生まれることもありますよね。

女性が輝く職場環境

岩見 県庁に入る前は、将来自分が子育てをしながら仕事することに漠然とした不安がありました。

小林 県庁は子育てに理解のある職場環境なので、今では安心できたのではないのでしょうか。私は、先輩方を参考にしながら、様々な子育て支援制度を自分のスタイルに合わせて活用することができましたし、職場の方々からも多くのサポートをいただきました。また、家族の理解と協力もありました。子どもたちは、仕事をしながら家事や子育ても献身的にこなす父親のこともとても頼りにしているようです。

岩見 小林リーダーは、働くお母さんとしても目標になります。子育てをしながら生き生きと仕事をしている先輩が職場にいることは、とても励みになりますし、心強く感じています。女性でも男性と変わらず責任ある仕事ができること、様々な分野で女性職員が活躍できることも県職員の魅力ですね。

小林 栃木県は、女性職員の活躍を後押しするため「県庁女性燦燦プラン」に取り組んでいるところです。男性職員も女性職員もともに一丸となって、使命感、働きがいや責任感を持って活躍する県庁づくりを進めていきたいですね。

栃木県庁女性活躍推進行動計画

SUN SUN

～県庁女性燦燦プラン～

女性活躍推進法に基づき、栃木県の知事部局等に在籍する職員を対象に、雇用事業主として女性職員の力を行政分野において最大限に活用するとともに、栃木県における牽引役として民間企業等の女性活躍を推進するための特定事業主行動計画です。

栃木県庁子育て応援行動計画とともに、全ての職員が仕事と子育ての両立が図れるよう、県庁全体で取り組んでいます。

先輩職員メッセージ

課をまとめる立場の職員から、豊富な経験や皆さんへのメッセージです。



県民生活部 暮らし安全安心課長
入野 祐子

Yuko Irino

S57年採用 総務部秘書課

H22年 県民生活部 青少年男女共同参画課 課長補佐 (GL)
H24年 経営管理部 行政改革推進室 室長補佐 (総括)
H26年 県民生活部 暮らし安全安心課 消費者行政推進室長
H27年 教育委員会事務局 総務課 総務主幹
H28年 県民生活部 暮らし安全安心課長

《私なりの仕事の基本》

福祉・農政・環境分野の業務や行政改革の推進など多種多様な職務に携わった経験から、①自分なりの課題意識を持つこと、②しっかりと情報を収集すること、③現状を正確に分析し、課題を明らかにすること、④独りよがりにならぬよう、周囲と十分相談すること、⑤より合理的で効率的な方策を立案し、実行することという大きな流れが、仕事の基本であると思っています。

《自分のため=県民のため》

はじめは、上司や同僚の手助けなしでは進まないかもしれませんが、仕事の流れを早く体得し、経験値をどんどん上げていくことが大切です。また、判断力や応用力を強化するためには、時には「失敗」の悔しさを味わうことも必要です。そして、皆さんが県民のために良い仕事ができるようになれば、栃木県庁全体のさらなるパワーアップにもつながっていくはずですよ。

《支え、支えられて》

知事はもとより幹部職員は、仕事と家庭の両立を応援する「イクボス」として、誰もが働きやすい職場環境を整える配慮をしています。結婚や育児など個々の状況は様々ではありませんが、特に子育てに関わる職員を職場全体で支援し、若い世代、働く女性をしっかりと育てていこうとしています。私も、1年のうちに2度、3度と、子どもが入退院を繰り返していた数年間は、仕事と看護の両立に苦労しましたが、同僚に助けられ、先輩方に励まされ、家族に支えられて、乗り切ることができましたよ。

《全力》

働くということはそれなりにストレスを感じるものです。今の自分の気持ちとしっかり向き合い、そして自分の未来を想像してみてください。不慣れたことにも臆することなく、全力でぶつかっていこうとする気持ちを大切に、皆さんと一緒に働く日が来ることをとても楽しみにしています。

《森林への思い》

私たちは、広大な栃木県の森林を整備し、元気な状態で次々に引き継ぐため、森林の整備・保全、林業の普及、木材利用促進、治山・林道事業などを行っています。森林は、苗を植えてから伐って利用するまで50~60年という長い時間を要するため、いつも遠い未来の森林の姿を思い浮かべ、今何をすべきなのかと思慮しながら毎日の仕事に取り組んでいます。『100年先の森林創り』に関われる、夢とロマンのある魅力あふれる仕事だと思っています。

《やりがい》

山崩れの復旧工事で苦労した現場が完成したときや、自分の熱意が林業従事者など客体に伝わり感謝されたときなどは、この上ない達成感が得られました。

《管理職としての面白さ》

年を重ね立場が変わると、それまでとは異なる困難はあるものの、全体の目標達成のため、いろいろな手法を組み合わせて思う方向に舵取りする、新たなやり甲斐や面白さもあります。

また、明るく風通しの良いチームワークの取れた職場環境が重要です。仕事はチームで協力して進めるものですから、若い人たちには自分の担当業務以外にも関心を持ち、知識や技術を身につけるよう心がけてほしいと思います。更に、持てる力を十分に発揮するには、休暇などを活用してリフレッシュすることも必要です。私は趣味の日曜大工や温泉で気分転換を図っています。

《技術を磨く》

5年先を見通すことが難しいほど社会は目まぐるしく変化しています。だからこそ、技術者は身につけた知識や技術に磨きをかけ続けることが使命であり、自身の成長にも繋がります。私たちは、この先の栃木づくりのため、「若い力」「新しい感性」を求めています。是非、『チーム栃木県庁』の一員として、一緒に『100年後のとちぎ』を創る仕事をしましょう。



環境森林部 森林整備課長
菊地 眞一

Shinichi Kikuchi

S57年採用 林務観光部 矢板林務観光事務所

H21年 環境森林部 林業振興課 課長補佐 (総括)
H23年 環境森林部 林業振興課 木材利用推進班長
H24年 環境森林部 県北環境森林事務所 森林部長
H26年 環境森林部 県南環境森林事務所 所長
H28年 環境森林部 森林整備課長

県庁の人事・研修制度 Q&A

Q1 給与について教えてください

A 初任給は、右の表のとおりとなっています(平成28年4月現在)。
勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、勤務経験年数や学歴に応じて、一定の基準により加算されます。
要件に応じて、**扶養手当、地域手当、通勤手当、超過勤務手当**などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして、**期末・勤勉手当**が6月と12月の年2回、合計で4.2ヵ月分支給されます(在職期間等によって異なります。)
原則として年に1回、勤務成績に応じて**昇給**があります。

修士課程 修了者	研究職	217,800円
	医療職(2)	202,100円
6年制大学卒	医療職(2)	208,400円
	行政職	183,300円
4年制 大学卒	研究職	199,700円
	医療職(2)	189,200円
短大卒	行政職	160,200円
	行政職	149,000円
高校卒	行政職	149,000円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用

Q2 勤務時間はどうなっていますか

A 勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分まで、正午から午後1時までが休憩時間となっており、1日の勤務時間は7時間45分です。職員のワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的とした**オフピーク通勤**(時差出勤)を選択することもできます(一部の職場を除く。)
完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除いて、土曜日と日曜日は週休日となっています。

Q3 休暇は何日取れますか

A 次のような休暇が設けられています。

- 年次休暇** 年度ごとに20日が付与されます。1時間単位で取得することも可能です。一般部門(教育部門及び警察部門以外の所属。以下同じ。)における平均取得日数は、10.9日(平成27年度)です。
- 傷病休暇** けがや病気のため勤務できない場合に取得することができます。一般的なけがや病気の場合、上限は90日です。
- 特別休暇** 次のような特別の事由により勤務しないことが相当と認められる場合に取得できます。
[ボランティア活動、結婚、出産、妻の出産、子の養育、夏季]
- 介護休暇** 要介護者を介護する場合に取得できます。

Q4 育児を行いながら仕事を続けられますか

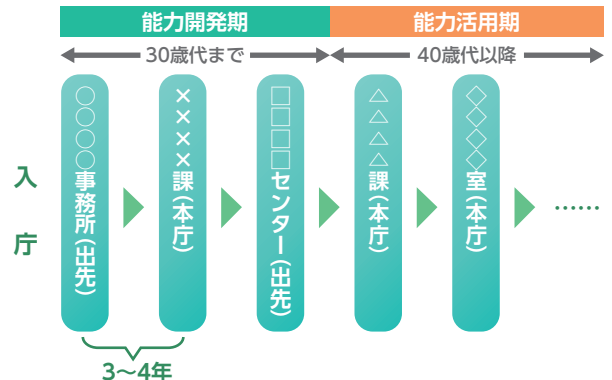
A 率先して少子化対策を進める観点から、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。
産前産後休暇(産前産後それぞれ8週間以内)、**育児休業**(子が3歳に達する日まで)のほかにも、**育児のための部分休業**(小学校就学前、1日2時間以内)や**短時間勤務制度**(小学校就学前、希望する日及び時間帯において短時間勤務)などがあります。
また、男性職員の育児参加を促進するための「**男性職員の育児参加プログラム制度**」などもあります。
平成27年度の一般部門における育児休業の取得率は、女性職員は100.0%、男性職員は7.2%であり、平成28年度には7名の男性職員が育児休業を取得しています。

Q5 配属先はどのように決められますか

A 配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。

Q6 異動はありますか

A 職種による違いがありますが、行政職の場合、おおよそ3年から4年のサイクルで異動があります。30歳代までは能力開発期として、幅広い能力開発や自己の適性の発見ができるように、本庁・出先機関で異なる分野を経験できるように異動します。40歳代以降は能力活用期とし、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視して、能力を最大限発揮できるように配置されます。

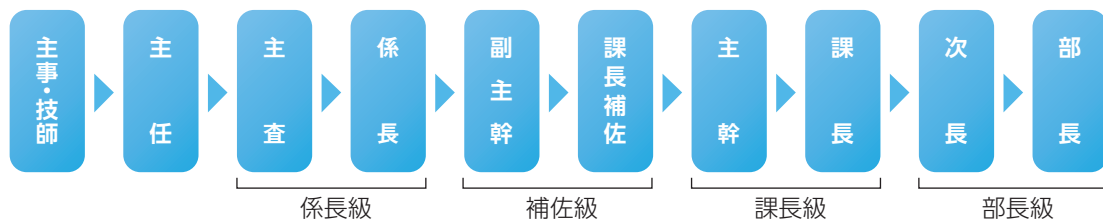


Q7 異動の希望は聞いてもらえるのですか

A 毎年1回、希望する職場や職務内容を所定の様式に記入して所属長に提出し、その内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについて所属長からアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。

Q8 どのように昇任するのですか

A 昇任は、職員の能力や勤務成績、経験年数を総合的に評価して行われます。行政職も技術職も基本的には同様です。



Q9 どのような研修がありますか

A 県職員には高度の専門性や様々なスキルが要求されますが、それらを養成する研修が充実しています。栃木県(教育部門及び警察部門を除いた一般部門)では、自己啓発支援、職場研修、研修所研修、派遣研修の4本柱により職員研修を実施しています。

1 自己啓発支援

県行政に関連する事項について自主的に研究を行う職員のグループに対し、研究活動に要する経費の一部を助成するなど、職員の自己啓発に対して支援を行っています。また、指定通信教育機関が実施する通信教育を団体割引価格で受講することができる制度や、自治大学校がインターネット上に開設した講座をオンラインで受講することにより、地方自治制度や地方税財政制度等について習得することができるe-ラーニング研修も用意されています。

2 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で実務に携わりながら、事務処理のスキルを身につけていくこととなります。また、県は所管する法令・制度が多岐にわたっているため、それぞれの部局等において、所掌する事務に係る研修を実施しています。

3 研修所研修

自分の職場を離れ、受講者が本庁舎北側の研修館等集まって受講する研修です。大きく、必修研修と特別研修に分けられます。

○**必修研修** 新採用職員研修などの基本研修と、各階層に期待される能力を昇任前に開発することを目的とした能力開発研修があります。このうち、新採用職員については、4月に10日間の前期研修、9月に4日間の後期研修が実施されます。研修では、様々な職種の新採用職員が一堂に集い、知事講話や先輩職員との意見交換を始め、県行政に関する講義、ビジネスマナー等、様々なメニューを通して、県職員としての基本的な知識・スキルを習得します。宿泊研修やグループワークを通して、同期入庁者との絆を深めることも研修の効果として期待されています。

○**特別研修** 政策形成のプロセスや手法を学ぶ政策立案研修や、会議を円滑に進めるための手法を学ぶファシリテーション能力向上セミナー等を開講しています。

Q10 中央省庁や民間企業へ派遣されることもありますか

A 中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚にもとづく事業展開など、県内部では体験できない業務に従事することにより能力の開発を図ることを目的とした研修を実施しています。中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも職員公募制により派遣希望者を募集しています。

平成28年度における職員の主な派遣先は、次のとおりです。

内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省
全国知事会、福島県、東京都
(株)足利銀行、サントリー酒類(株)、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)、三菱商事(株)
県内8市町

Q11 どのような福利厚生がありますか

A 職員やその家族のために病気、負傷、休業、災害、退職、死亡などに関して給付を行うための相互救済を目的とした共済制度があります。

健康管理

全職員を対象として、年1回定期健康診断、年齢に応じた人間ドックなどの各種健康診断を実施しているほか、健康管理、健康の保持増進のため、各種健康相談やメンタルヘルスセミナーなども実施しています。また、本庁舎に歯科診療所を設けています。

共済組合からの給付・貸付

職員やその家族が、病気やけがをしたときの療養費などの支給、退職後の年金の支給をしています。また、出産・教育・住宅の取得、災害などで資金が必要になったときに、貸付を受けられます。

その他のQ&Aはホームページをご覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/qa.html>



インターンシップ……県の仕事を体験



栃木県では、学生のインターンシップ受入れを行っています。平成28年度は行政職向け70所属、技術職向け29所属で募集を行いました。

インターンシップでは、データ集計や資料作成、会議の準備や現地調査など、受入所属によって様々なメニューや実習テーマが用意されています。

県庁を身近に感じ県の仕事を理解することや、県職員を職業の選択肢として考えていただく、またとない機会です。

参加申込みは在籍する教育機関を通じて受け付けますので、詳しくは経営管理部人事課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b02/pref/zaiseijinji/jinji/internship-bosyu.html>



※インターンシップ参加の有無は、職員採用試験の可否には一切関係ありません。

平成28年度行政職向けインターンシップの例

- 平成28年8月22日(月)～26日(金)の5日間実施
- 2つのプログラムで構成し、個別プログラムは各受入所属で実施し、共通プログラムは人事課で実施(網掛)
- ※1 先輩職員2名と学生6名のグループ形式での意見交換を4回行い、他所属の業務や県職員のイメージを掴む機会として実施
- ※2 インターンシップでの体験をグループ形式で発表し、学生同士で内容を共有したほか意見交換を実施

日	午前	午後
初日	オリエンテーション 県の基礎知識(講義・庁舎見学)等	所属実習
第2日	所属実習	所属実習 先輩との交流会※1
第3日	所属実習	所属実習
第4日	所属実習	所属実習
最終日	所属実習 (報告発表・意見交換等)	報告会※2 所属実習

平成28年度参加者の感想

《所属実習》

- 課に入るときは緊張しますが、職員の皆さんが優しく接していただき、本当に働いているような空気で、もし入庁したらというイメージが湧きました。(行政職向け)
- 大気・水環境の保全や循環型社会の形成等に関する業務に限らず、美しい環境の利活用など、環境を守るだけでなく活かすことで地域貢献できる魅力的な職業であると感じました。(技術職向け)
- 試験場の仕事は、想像以上に体を使うことに驚きました。また、自然を相手にしているため、農産物の管理の大変さを知ることができると、直接話を聞いたり、体験できたことは、とても意義深いものでした。(技術職向け)

- 自分で考えていた仕事内容と実際の仕事内容の違いを理解することができ、県民のため大規模な仕事に携わることの魅力を感じました。(技術職向け)

《先輩との交流会》

- 業務以外のことを聞いても答えてくださるのがうれしかった。たくさんの方がいる公務員だからこそ、いつも「学ぼう」とする意識が大切だと改めて思いました。(行政職向け)

《最終日の報告会》

- 課によって全く違う実習をしていて、うらやましいなあと思う一方、でも私はこんなこともしたんだぞという思いもあり、県庁の仕事の多様性について実感しました。(行政職向け)

採用試験受験の手引き

STEP1 募集職種や募集人数、試験案内などの情報収集

人事委員会事務局のホームページから情報を収集できます。情報の提供時期はおおむね右のとおりです。



<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>

試験の種類	募集職種	募集人数	試験案内
大学卒業程度 資格・免許職(保健師、管理栄養士) 選考考査(獣医師等)			4月中～下旬
高校卒業程度 資格・免許職(上記以外) 社会人対象 選考考査		4月中～下旬	6月中旬

試験案内を必ず読んでください。

試験の種類によって、受験資格(年齢や資格・免許の有無など)や試験種目・出題範囲・配点などが異なります。

STEP2 受験申込み

受験申込みは、インターネット(電子申請)をご利用ください。

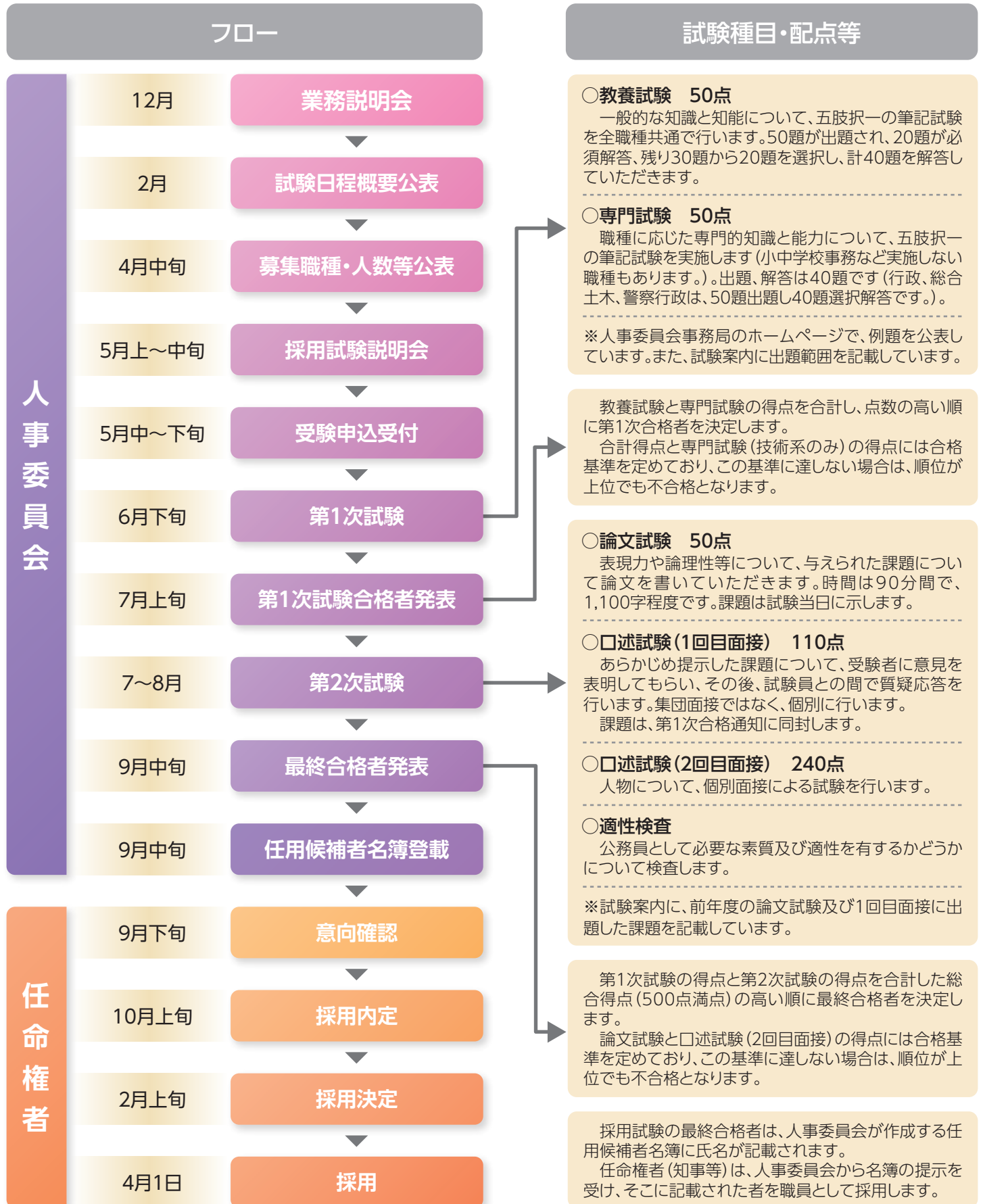
パソコン、スマートフォンから申込みできます。事前に利用環境と注意事項をよく読んでください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/moushikomi.html>



採用までの流れ

平成28年度大学卒業程度採用試験を例に説明します。
試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、試験案内で確認してください。



栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成24~28年度)

【大学卒業程度】

職 種	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
行 政	55名程度	60名程度	65名程度	68名程度	83名程度
薬 劑 師	5名程度	3名程度	5名程度	5名程度	4名程度
化 学 師	5名程度	5名程度	5名程度	3名程度	6名程度
農 業	1~2名	8名程度	8名程度	11名程度	7名程度
畜 産	1~2名	1~2名	3名程度	1~2名	1~2名
林 業	1~2名	7名程度	5名程度	6名程度	7名程度
総 合 士 木	18名程度	30名程度	28名程度	23名程度	24名程度
建 築	4名程度	4名程度	5名程度	5名程度	3名程度
電 気	1~2名	1~2名	3名程度	4名程度	5名程度
機 械	1~2名	3名程度	1~2名	1~2名	5名程度
心 理	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
水 産	—	—	1~2名	—	1~2名
警 察 行 政	15名程度	15名程度	8名程度	5名程度	6名程度
小 中 学 校 事 務	18名程度	13名程度	21名程度	20名程度	27名程度

【高校卒業程度】

職 種	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
行 政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
建 築 (警 察 本 部)	—	—	1~2名	—	—
警 察 行 政	3名程度	8名程度	4名程度	1~2名	3名程度
小 中 学 校 事 務	6名程度	4名程度	6名程度	5名程度	7名程度

【資格・免許職】

職 種	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
保 健 師 (知 事 部 局)	8名程度	3名程度	3名程度	1~2名	5名程度
保 健 師 (警 察 本 部)	—	—	1~2名	—	—
臨 床 検 査 技 師	1~2名	1~2名	—	1~2名	—
診 療 放 射 線 技 師	—	—	1~2名	—	—
理 学 療 法 士	1~2名	—	—	1~2名	7名程度
作 業 療 法 士	—	1~2名	1~2名	—	5名程度
管 理 栄 養 士	1~2名	—	1~2名	1~2名	—
栄 養 士 (県 立 学 校)	—	—	—	—	—
栄 養 士 (小 中 学 校)	5名程度	1~2名	1~2名	1~2名	5名程度
司 書	1~2名	—	—	1~2名	1~2名
保 育 士	1~2名	1~2名	3名程度	—	1~2名

【社会人対象】

職 種	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総 合 士 木	—	5名程度	5名程度	5名程度	1~2名
建 築	—	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名

【選考考査】

職 種	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
歯 科 衛 生 士	—	—	—	1名	—
言 語 聴 覚 士	—	—	1~2名	—	4名程度
精 神 保 健 福 祉 士	—	—	1名	1~2名	1~2名
職業訓練指導員(機械系)	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	2名程度
職業訓練指導員(接客サービス系)	—	—	—	—	1~2名
獣 医 師	5名程度	5名程度	7名程度	8名程度	8名程度
織 維 工 業 技 術 者	—	—	—	—	1~2名
学 芸 員 (日 本 画)	—	—	1名	—	—
学 芸 員 (版 画)	—	—	—	1名	—
博物館資料専門員(古生物学)	—	1名	—	—	—
博物館資料専門員(無脊椎動物)	—	—	—	1名	—
航空整備士(回転翼航空機)	—	—	1名	1名	—
犯罪鑑識技術者(法医)	—	—	1名	—	—
犯罪鑑識技術者(化学)	—	1名	—	1名	1名
犯罪鑑識技術者(物理)	—	—	—	—	1名
犯罪鑑識技術者(心理)	—	—	—	1名	—
少 年 補 導 職 員	—	—	1名	—	—
行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	5名程度	6名程度	6名程度	5名程度	4名程度
警 察 行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
小 中 学 校 事 務 (身 体 障 害 者 対 象)	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	3名程度

この表に記載のない次の職種については、●看護師 栃木県保健福祉部病院経営管理室 TEL 028-623-3158
各担当課にお問い合わせください。 ●児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

平成28年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

【大学卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	714	529	240	92	5.8
薬 劑 師	14	12	12	4	3.0
化 学 師	47	33	18	7	4.7
農 業	55	42	21	9	4.7
畜 産	17	15	4	2	7.5
林 業	30	21	15	10	2.1
総 合 士 木	57	42	34	22	1.9
建 築	16	14	5	3	4.7
電 気	31	15	14	6	2.5
機 械	23	16	11	5	3.2
心 理	13	12	3	1	12.0
水 産	9	7	5	1	7.0
警 察 行 政	41	32	18	5	6.4
小 中 学 校 事 務	334	260	85	27	9.6

【高校卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	77	67	16	6	11.2
警 察 行 政	31	29	9	4	7.3
小 中 学 校 事 務	69	56	21	7	8.0

【資格・免許職】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保 健 師 (知 事 部 局)	27	23	14	5	4.6
理 学 療 法 士	9	6	6	6	1.0
作 業 療 法 士	13	13	13	5	2.6
栄 養 士 (小 中 学 校)	61	54	15	5	10.8
司 書	29	21	5	1	21.0
保 育 士	7	5	3	2	2.5

【社会人対象】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
総 合 士 木	10	8	3	1	8.0
建 築	2	2	2	1	2.0

【選考考査】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
言 語 聴 覚 士	13	13	11	4	3.3
精 神 保 健 福 祉 士	8	5	4	1	5.0
職業訓練指導員(機械系)	7	5	3	1	5.0
職業訓練指導員(接客サービス系)	2	2	2	1	2.0
獣 医 師	15	13	13	9	1.4
織 維 工 業 技 術 者	6	6	4	2	3.0
犯罪鑑識技術者(化学)	27	18	5	1	18.0
犯罪鑑識技術者(物理)	9	6	5	0	—
行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	13	10	9	4	2.5
警 察 行 政 (身 体 障 害 者 対 象)	3	2	1	0	—
小 中 学 校 事 務 (身 体 障 害 者 対 象)	8	6	6	0	—